

健やか親子21(第2次)の掲げる課題と主な応募対象

基盤課題A「切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策」

- 妊娠、出産に係る正しい知識の普及啓発（妊娠中や育児中の喫煙・飲酒・食生活・体重管理、産後のメンタルヘルスなど）
- 妊娠期からのメンタルヘルスケア（父親のメンタルヘルスケアを含む）
- 関係機関（保健・医療・福祉など）との妊娠期からの連携強化
- 妊産婦、乳幼児への切れ目のない支援（妊娠届出時からの支援、妊婦健康診査受診勧奨、乳幼児健康診査の受診状況把握、乳幼児の歯の健康など）
- ハイリスク児への支援（退院後も何らかの医療的な処置を必要とする等の医学的ハイリスク児や、保護者に虐待リスクや経済的困窮がある場合などの社会的ハイリスク児も含む）
- 乳幼児健康診査事業の評価
- 災害時における妊産婦、乳幼児への支援策の検討

基盤課題B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」

- 思春期保健対策（人工妊娠中絶、性感染症、喫煙、飲酒、歯の健康など）
- 食育（朝食欠食や家族等との共食に関する取組など）
- 児童、生徒の肥満や不健康やせへの対応
- 自殺対策
- 地域保健福祉（市町村・保健所・精神保健福祉センター・児童相談所等）と学校保健、医療機関、関係団体等との連携強化

基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」

- 妊産婦に優しい環境づくり（マタニティマークの普及啓発、就労妊婦への支援、父親への支援など）
- 地域の子育て支援（ソーシャル・キャピタルの醸成）
- 育児不安の親のグループ活動支援
- 子どもの事故防止対策
- 母子保健関係者専門性向上のための取組

重点課題①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」

- 育てにくさを感じる親への支援（育てにくさを感じる親への早期支援体制、発達障害に関する市民への普及啓発など）
- 慢性疾患や障害のある親への支援
- 子どもの心の問題への支援

重点課題②「妊娠期からの児童虐待防止対策」

- 妊娠期からの児童虐待防止対策
- 特定妊婦等支援の必要な親に対するグループ活動支援の推進
- 関係機関、団体との連携（要保護児童対策地域協議会の整備など）
- 児童虐待防止のための医療機関との連携